

4805 号

# 伝書鳩

全国一般労組・全国協議会  
安倍川製紙労働組合  
静岡市葵区田町 3-5-6  
電話 054-271-7302  
岩瀬構内電話 340  
[abekawarousc@room.ne.jp](mailto:abekawarousc@room.ne.jp)

2011 年 3 月 8 日

## 15,000 円の賃上げ要求はなぜ？ 人らしく生きるための要求

安倍川労組の賃上げ要求は今年も 15000 円です。この要求について「非現実的」と感じる人は、残念ながら多いと思います。今回はそれに対する「言い分」を述べます。

1970 年ころの春闘では一万円以上の賃上げが普通でしたし

1973 年には 3 万円という回答もありました。そうした賃上げによって、働く人は車を買ったり、将来を見通しての結婚

や家を建てるということができたのです。言い換えれば、昨今のように毎年 3000 円くらいの賃上げでは 10 年でも 3 万円ですから、「将来設計ができない」というのは当然のことです。

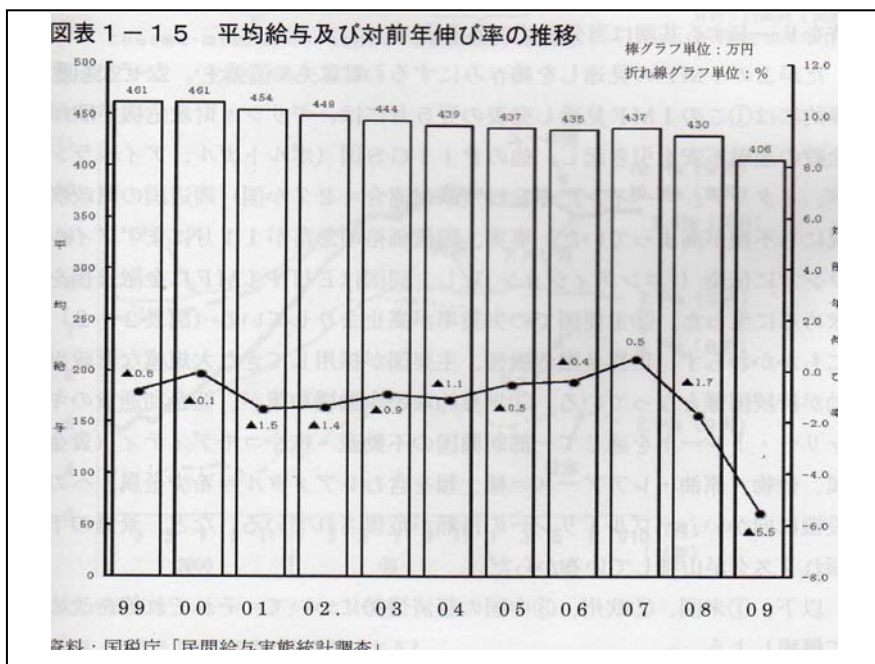
### 10 年で平均年収 55 万円の落ち込み

右上のグラフは、国税庁の「民間給与実態統計調査」からのもので、棒グラフが平均給与、折れ線グラフが伸び率です。ここ十年、平均賃金は 461 万円から 406 万円と 55 万円も下がり、伸び率についても惨たんたる状況と言えます。

ちなみに、逆に上がったものとしては「株主配当」「役員報酬」「企業の内部留保」と言われています。

### 賃上げできない理由はいつでもあった

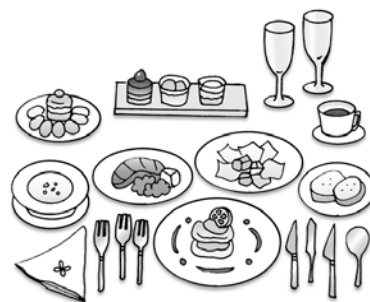
もちろん、「国際競争力」とか「中国経済に負ける」など今年も賃上げのできない理由が



ウラにつづきます⇒

言われます。しかし、経営側にとっては「先行きの不透明」など、賃上げのできない理由は大幅賃上げが行われた 1970 年代の前半にさえありました。

あの時代、厳しかったからこそ、働く者の協力を得るために、企業側は大幅な賃上げに応じたのです。



## 労働組合が社会から

## 期待されるために

現在経営側は大企業を中心に、働くものの協力より格差社会には目も向けずにコストダウンにひた走っています。労働組合の抵抗が弱いのが大きな理由です。

昨今言われているのは「政治が悪い」です。確かに菅政権の行っていることにはいくつも批判はあります。そうであれば労働組合は行動・運動を起こして社会的なうねりを作るべきです。残念ながら労働組合は話題にも上りません。たとえばフランスでは年金改悪に対して労働組合の闘いは組合の違いを越えてゼネラルストライキへと発展しているのです。

今の日本で、政府に反対する大きな闘いを起こすには長い時間をかけねばならないでしょうが、いずれにせよ労働組合は現在組合員であろうとなかろうと、ワーキングプアの問題を自分たちの課題することをはじめ、働く仲間から「組合って信用できる」ような運動を行うべきです。